

## 本文中の注意書きに関する解説等

## ◆データ表記について

※広島県中山間地域振興計画・中間まとめ（案）において、中山間地域の統計データは、統計上抽出可能な区域で把握した数値とした。具体的な区分は、特に（注）がない限り、次によった。

（全ての区分とも、平成 26 年 4 月 1 日時点の区域によった。具体的には、過疎地域自立促進特別措置法の改正により平成 26 年 4 月 1 日付けで新たに過疎地域に指定される旧府中市を中山間地域に含めた。）

中山間地域 a：広島県中山間地域振興条例に基づく中山間地域

中山間地域 b：過疎地域自立促進法に基づく過疎地域

中山間地域 c：全域が過疎地域自立促進法に基づく過疎地域である市町の区域

中山間地域 d：「地域の暮らしに対する意識調査」（住民アンケート；H25 年度広島県地域政策局）の実施地域（安芸太田町，大崎上島町，世羅町）

※なお、同一の統計データにおいては、「非中山間地域」の区域は、広島県全域から上記区分に基づく「中山間地域」を除いた区域とした。

## （解説 1）P 1 中山間地域の公益的かつ多面的機能

## ◆県・市町協議における主な意見

- ・広島県の中山間地域は、四季の変化に富んでいる。山や海もあり多様性を楽しむことができる地域だと思う。
- ・中山間地域は、広島県全体の美味しい空気や食材などの豊かさを支える源と考える。
- ・中山間地域の価値として故郷という位置付けがある。故郷に心を寄せてもらう、関わってもらうということを大切にしてほしい。

## （解説 2）P 1 中山間地域との関わり

○住民アンケート（H25 広島県地域政策局）によると、都市部に居住する住民のうち半数以上が中山間地域と何らかの関わりを有している。

【表 1】中山間地域との関わり（都市部のみ）

（単位：%）

区 分	出身地である	出身地ではないが住んだことがある	住んでいないが通勤や通学で通っている	親族が居住している	家屋や田畑などの資産を保有している	関わりは無い	その他
全体	19.2	5.9	1.1	33.8	4.9	45.4	6.2
20～40 代	14.6	6.3	1.4	31.3	3.5	50.0	7.6
50～60 代	21.7	3.3	1.3	38.8	4.6	42.8	5.3
70 代以上	23.0	10.8	0.0	28.4	8.1	41.9	5.4

**(解説3) P2 中山間地域への愛着, 都市部住民の中山間地域に対する意識**

○住民アンケート (H25 広島県地域政策局) によると, 中山間地域の住民, 都市部の住民ともに, 約8割が中山間地域に愛着を抱いている。

**【表2】居住地への愛着**

(単位:%)

区 分	愛着がある・どちらかという と愛着がある		どちらかという と愛着がない		どちらとも 言えない	
	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部
全体	81.9	77.5	7.7	8.9	10.3	13.6
20~40代	68.8	69.9	14.8	15.4	16.4	14.7
50~60代	83.6	82.9	5.8	4.6	10.5	12.5
70代以上	90.4	81.1	4.2	5.4	5.4	13.5

**【表3】中山間地域は大切だと思うか (都市部のみ)**

(単位:%)

区 分	大切だと思う・どちらか という大切だと思う	大切だと思わない・どちらか という大切だと思わない	どちらとも 言えない
全体	84.5	1.4	14.2
20~40代	83.3	2.1	14.6
50~60代	84.9	1.3	13.8
70代以上	85.9	0.0	14.1

**(解説4) P3 目指すべき中山間地域の姿**

**◆県・市町協議における主な意見**

[人口]

- ・中山間地域の継承者がいなくなりつつある。少し前までは, 人口減少とはいえ, 地域に次世代を担う方がいた。今はいなくなってきた。地域継承のサイクルが崩れつつある。
- ・人口の減少幅が小さくなりつつある。地域から転出する人間さえ少なくなってきた。
- ・人口減少が産業や定住環境の縮小を招く悪循環になっている。
- ・局地的にはともかく, 中山間地域全体の人口増加を図るのは難しい。現在の人口を維持することも容易ではないが, 地域から人が減ることは寂しい。人口減少の抑制や, 社会減を食い止めることを図っていききたい。可能であれば人口を維持したい。
- ・中山間地域の人口維持と住民活動など地域の活性化を図っていききたい。
- ・中山間地域の豊かさは, 地域の継承者の有無によると思う。

[住民の意識]

- ・住民が「豊かに暮らせている」と思える状態が, ひとつの到達点ではないかと思う。
- ・地域生活における住民の満足度向上や幸せの実感を目指したい。
- ・中山間地域は不便さや寂しさもあるが良いところもある。住民が地域の良さを実感できる地域づくりをすれば, 地域が変わってくると思う。
- ・地域に愛着を持ってもらうことが必要。就職や就学で転出しても故郷に目を向けてもらいたい。地域のにぎわいが子供の目に映ることが地元愛に繋がる。転出しても, 故郷である中山間地域に心を寄せ, 絆を持ち続けてもらいたい。

**(解説5) P3 中山間地域の生活の満足度や将来展望に対する意識**

○中山間地域の住民は、約6割が地域生活に概ね満足感を抱いており、約7割が地域に住み続けたいと考えている。ただし、地域生活における満足度は都市部より低く、とりわけ、若年層(20～40代)においては、地域生活の満足感や今後の居住意向が、都市部の同世代に比べ大幅に低くなっている。

○また、今後の居住地の生活環境について、中山間地域では、約5割が悪くなっていくと考えている。

**【表4】 地域生活の満足感**

(単位:%)

区 分	満足している・どちらかという と満足している		不満である・どちらかという と不満である		どちらとも言えない	
	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部
全体	59.7	83.5	23.8	8.9	16.5	7.6
20～40代	37.5	81.9	39.8	11.1	22.7	6.9
50～60代	65.7	87.5	21.5	5.3	12.8	7.2
70代以上	70.5	78.4	13.9	12.2	15.7	9.5

**【表5】 今の居住地に住み続けたいか**

(単位:%)

区 分	住み続けたい・どちらかとい うと住み続けたい		別の地域に住みたい・どちらかとい えは別の地域に住みたい		どちらとも言えない	
	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部
全体	72.1	80.1	17.4	12.0	10.6	7.8
20～40代	49.2	75.9	33.3	17.0	17.5	7.1
50～60代	79.4	81.4	12.9	9.7	7.7	9.0
70代以上	82.8	85.9	9.3	7.0	7.9	7.0

**【表6】 今後の居住地の生活環境**

(単位:%)

区 分	非常に良くなっていくと思う・ 少しは良くなっていくと思う		少し悪くなっていくと思う・ 非常に悪くなっていくと思う		あまり変わらない と思う		分からない	
	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部
全体	13.6	24.4	53.9	17.9	28.7	52.8	3.9	4.9
20～40代	12.5	31.9	55.5	13.2	28.9	49.3	3.1	5.6
50～60代	11.0	17.2	61.0	21.2	25.0	58.9	2.9	2.6
70代以上	17.1	24.3	45.1	20.3	32.3	47.3	5.5	8.1

**◆県・市町協議における主な意見**

- ・将来はともかく、現時点においては、現在の暮らしについて大きな不満がある訳ではないと思う。ただし、10年後には厳しい状況になるのではないかと。
- ・中山間地域の住民は、地域に愛着を持っていると思う。
- ・住民に、現状についての諦め感や他人事感、地域についての誇りの喪失が見受けられる。家庭等において、若者に都市部への転出を促すような話が出てしまっている。
- ・地域の将来像が見えないため、住民が不安感を抱いているのだと思う。

**(解説6) P3 地域における課題**

○中山間地域の住民が居住地で必要と考える取組は多岐にわたる。特に「移住促進」「働く場の確保」「医療介護」「移動手段」に取り組みが必要と考える意見（「自己負担が生じても取り組む必要を感じる」と「取り組む必要を感じるが自己負担するほどではない」の合計）は約8割を超えている。

**【表7】居住地で必要と考える取組（上位項目）**

（単位：％）

区 分		自己負担が生じてでも取り組む必要を感じる		取り組む必要を感じるが自己負担するほどではない		それほど取り組む必要を感じない		取り組む必要を感じない		どちらとも言えない	
		中山間	都市部	中山間	都市部	中山間	都市部	中山間	都市部	中山間	都市部
山林・家屋・空き地など 地域環境の 管理保全	全体	22.2	8.9	49.7	46.7	5.6	11.9	3.6	11.9	18.9	20.7
	20～40代	17.3	7.5	41.8	50.9	8.2	17.0	6.1	13.2	26.5	11.3
	50～60代	23.9	8.9	58.2	42.9	1.5	7.1	3.0	10.7	13.4	30.4
	70代以上	24.5	11.5	46.2	46.2	8.5	11.5	1.9	11.5	18.9	19.2
見守りや 声掛けなどの 生活サポート	全体	22.5	15.0	50.6	56.4	6.3	6.8	1.5	2.3	19.2	19.5
	20～40代	18.2	7.5	48.5	62.3	9.1	5.7	3.0	1.9	21.2	22.6
	50～60代	21.5	23.2	54.1	53.6	5.2	5.4	0.0	0.0	19.3	17.9
	70代以上	28.0	12.5	48.0	50.0	5.0	12.5	2.0	8.3	17.0	16.7
地域への 若者などの 移住促進	全体	27.8	14.3	54.9	42.1	2.4	11.3	1.8	6.8	13.1	25.6
	20～40代	28.6	9.4	55.1	45.3	2.0	17.0	2.0	7.5	12.2	20.8
	50～60代	28.9	19.6	60.7	39.3	1.5	8.9	0.0	5.4	8.9	26.8
	70代以上	25.5	12.5	47.1	41.7	3.9	4.2	3.9	8.3	19.6	33.3
働く場の確保	全体	31.7	10.0	57.1	40.0	1.5	14.6	1.5	9.2	8.3	26.2
	20～40代	33.3	9.4	59.6	50.9	0.0	9.4	1.0	11.3	6.1	18.9
	50～60代	32.3	11.1	60.9	33.3	0.0	16.7	0.0	7.4	6.8	31.5
	70代以上	29.2	8.7	50.0	30.4	4.7	21.7	3.8	8.7	12.3	30.4
鳥獣被害対策	全体	37.8	6.8	38.9	30.8	4.4	24.8	2.7	15.0	16.2	22.6
	20～40代	25.3	3.8	37.4	20.8	5.1	32.1	5.1	17.0	27.3	26.4
	50～60代	42.2	3.6	43.0	41.8	4.4	18.2	0.0	14.5	10.4	21.8
	70代以上	43.8	20.0	35.2	28.0	3.8	24.0	3.8	12.0	13.3	16.0
教育環境の 確保充実	全体	24.5	12.1	47.0	30.3	7.0	22.0	2.4	17.4	19.1	18.2
	20～40代	31.0	15.1	51.0	32.1	6.0	18.9	2.0	15.1	10.0	18.9
	50～60代	22.3	10.7	46.9	30.4	6.2	26.8	0.0	16.1	24.6	16.1
	70代以上	21.0	8.7	43.0	26.1	9.0	17.4	6.0	26.1	21.0	21.7
医療介護の 確保充実	全体	35.0	11.3	49.0	33.1	4.2	23.3	1.2	14.3	10.7	18.0
	20～40代	35.0	9.4	51.0	35.8	5.0	20.8	2.0	7.5	7.0	26.4
	50～60代	33.1	8.9	51.1	33.9	3.0	28.6	0.0	16.1	12.8	12.5
	70代以上	37.5	20.8	44.2	25.0	4.8	16.7	1.9	25.0	11.5	12.5
交通機関など 移動手段の 確保充実	全体	29.2	10.5	53.3	30.8	4.5	21.1	2.1	21.1	11.0	16.5
	20～40代	32.3	15.1	52.5	34.0	4.0	26.4	2.0	13.2	9.1	11.3
	50～60代	26.9	7.1	59.0	28.6	3.0	16.1	1.5	23.2	9.7	25.0
	70代以上	29.1	8.3	46.6	29.2	6.8	20.8	2.9	33.3	14.6	8.3

※表区分のうち、中山間は「中山間地域d」を指す。

※「自己負担が生じてでも取り組む必要を感じる・取り組む必要を感じるが自己負担するほどではない」との回答が中山間地域d全体で70%以上であったもの。

**(解説7) P5 中山間地域の人口等の状況**

- 広島県全域、中山間地域ともに高齢化率が上昇傾向にあるが、中山間地域は、広島県全域に比べ、より高齢化率が高くなっている。
- 非中山間地域においては、平成20年から平成24年の平均値で、社会減・自然増傾向にあるが、中山間地域は、社会減・自然減傾向にある。
- 中山間地域の転出超過は、仕事（「就職」「転勤・転業」）や就学、婚姻を理由とするものが多いことから、若年層の転出が多くなっていると考えられる。
- 中山間地域の人口は、推計上、今後30年間で約4割と、広島県全域に比べ大きな割合で減少することが見込まれている。

**【表8】人口構成**

(単位:千人, (%))

区分		合計	15歳未満	15歳以上~65歳未満	65歳以上
H2年	広島県全域	2,850	525(18.4)	1,937(68.0)	381(13.4)
	中山間地域b	401	65(16.3)	245(61.1)	91(22.6)
	非中山間地域	2,449	460(18.8)	1,692(69.1)	291(11.9)
H12年	広島県全域	2,879	428(14.9)	1,917(66.6)	532(18.5)
	中山間地域b	364	47(12.8)	205(56.1)	113(31.0)
	非中山間地域	2,514	381(15.2)	1,712(68.1)	418(16.6)
H22年	広島県全域	2,861	387(13.5)	1,765(61.7)	677(23.7)
	中山間地域b	321	35(10.8)	170(53.1)	115(35.9)
	非中山間地域	2,540	352(13.9)	1,595(62.8)	561(22.1)

※H22 国勢調査による。なお、65歳以上人口は年齢不詳人口を除いているため、合計は一致しない。

**【表9】人口移動の状況**

(単位:人)

区分	H20 -H24	社会動態			自然動態			増減計
		転入	転出	社会増減	出生	死亡	自然増減	
広島県 全域	累計	625,052	637,627	▲12,873	129,035	139,584	▲10,549	▲23,422
	平均	125,010	127,525	▲2,575	25,807	27,917	▲2,110	▲4,684
中山間 地域c	累計	42,831	50,153	▲7,322	8,600	21,104	▲12,504	▲19,826
	平均	8,566	10,031	▲1,464	1,720	4,221	▲2,501	▲3,965
非中山 間地域	累計	582,221	587,474	▲5,253	120,435	118,480	1,955	▲3,298
	平均	116,444	117,495	▲1,051	24,087	23,696	391	▲660

※人口移動統計調査（甲調査）による。

**【表10】社会動態の転入転出差引と移動の要因（主因者）**

(単位:人)

区分	H20 -H24	就職	転勤 ・転業	退職 ・廃業	就学	卒業	婚姻	住宅	その他 ・不詳	計
広島県 全域	累計	▲6,171	▲4,865	1,020	▲5,918	526	▲1,200	113	▲1,821	▲18,316
	平均	▲1,234	▲973	204	▲1,184	105	▲240	23	▲364	▲3,663
中山間 地域c	累計	▲3,484	▲2,167	415	▲1,434	126	▲1,604	▲581	▲1,653	▲10,382
	平均	▲697	▲433	83	▲287	25	▲321	▲116	▲331	▲2,076
非中山 間地域	累計	▲2,687	▲2,698	605	▲4,484	400	404	694	▲168	▲7,934
	平均	▲537	▲540	121	▲897	80	81	139	▲34	▲1,587

※人口移動統計調査（乙調査）による。

【表 11】年齢構成の推計（人数、割合）

（単位：千人，（％））

区 分	H22 年	推計人口						H22-H52 増減率
		H27 年	H32 年	H37 年	H42 年	H47 年	H52 年	
広島県全域	2,861	2,825	2,767	2,689	2,599	2,499	2,391	▲16.4
0-14 歳	387(13.5)	367(13.0)	341(12.3)	311(11.6)	284(10.9)	267(10.7)	256(10.7)	▲33.8
15-64 歳	1,788(62.5)	1,664(58.9)	1,587(57.4)	1,533(57.0)	1,476(56.8)	1,391(55.7)	1,271(53.2)	▲28.9
65 歳以上	686(24.0)	794(28.1)	839(30.3)	844(31.4)	839(32.3)	840(33.6)	864(36.1)	26.0
中山間地域 c	262	244	227	210	194	179	164	▲37.3
0-14 歳	29(11.2)	26(10.7)	23(10.1)	20(9.6)	18(9.2)	16(9.2)	15(9.3)	▲47.9
15-64 歳	140(53.7)	123(50.4)	111(48.7)	101(48.1)	93(48.2)	86(48.1)	76(46.6)	▲45.6
65 歳以上	92(35.1)	95(38.9)	93(41.2)	89(42.3)	82(42.6)	76(42.8)	72(44.1)	▲21.2
非中山間地域	2,599	2,582	2,540	2,479	2,405	2,320	2,227	▲14.3
0-14 歳	358(13.8)	341(13.2)	318(12.5)	291(11.7)	266(11.1)	251(10.8)	241(10.8)	▲32.7
15-64 歳	1,647(63.4)	1,541(59.7)	1,476(58.1)	1,433(57.8)	1,382(57.5)	1,306(56.3)	1,195(53.6)	▲27.5
65 歳以上	594(22.9)	699(27.1)	745(29.3)	755(30.5)	757(31.5)	764(32.9)	792(35.6)	33.2

※人口は国勢調査，推計人口は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（H25.3）による。

**(解説8) P7 産業雇用の状況**

- 中山間地域の市町内総生産額及び就業者数は、広島県全域に比べ大きな割合で減少している。
- ・中山間地域は、産業別構成比で第1次、第2次、第3次産業とも減少傾向にある。
- ・中山間地域は、広島県全域に比べ第1次産業の就業者割合が高いという特徴があるが、その構成比は減少傾向にあり、代わって第3次産業の就業者割合が増加傾向にある。

**【表12】市町内総生産の推移**

(単位：百万円，%)

区 分		H12年	H17年	H22年	H12-H22差引(増減率)
中山間地域c	総生産	1,114,708	1,018,071	918,802	▲195,906(▲17.6)
	第1次産業	44,440	40,028	42,180	▲2,260(▲5.1)
	農業	30,900	29,873	30,083	▲817(▲2.6)
	林業	8,701	5,968	8,413	▲288(▲3.3)
	水産業	4,833	4,187	3,684	▲1,149(▲23.8)
	第2次産業	410,643	356,612	285,574	▲125,069(▲30.5)
第3次産業	690,725	624,357	589,464	▲101,261(▲14.7)	
(参考) 広島県全域総生産		11,175,844	11,554,587	10,808,039	▲367,805(▲3.3)

※市町民経済計算結果(H22, 17), 市町村民所得推計結果(H12)による。なお, H12の各計数は, 在庫品評価調整前の数値である。また, 「輸入税-その他」を含むため, 「総生産」と各産業の積み上げは一致しない。

**【表13】就業者数(15歳以上)の状況**

(単位：人，%)

区 分		H2年	H12年	H22年	H2-H12差引(増減率)	
広島県全域	就業者数	1,414,268	1,428,326	1,343,318	▲70,950(▲5.0)	
	構成比	第1次産業	6.3	4.6	3.4	▲2.9
		第2次産業	34.4	29.6	26.6	▲7.8
		第3次産業	58.9	64.7	70.0	11.1
中山間地域c	就業者数	174,442	153,482	126,837	▲47,605(▲27.2)	
	構成比	第1次産業	20.9	17.7	15.0	▲5.9
		第2次産業	35.1	30.7	26.0	▲9.1
		第3次産業	43.9	51.5	59.0	15.1
非中山間地域	就業者数	1,239,876	1,274,844	1,236,288	▲3,588(▲0.3)	
	構成比	第1次産業	4.2	3.0	2.2	▲2.0
		第2次産業	34.3	29.5	26.7	▲7.6
		第3次産業	61.0	66.2	71.1	10.1

※国勢調査による。なお, 不詳人口を除く。

### ◆農林水産業の状況

- ・中山間地域の農業産出額や経営耕地面積は広島県全域に比べると緩やかではあるが、減少傾向にある。

【表 14】 農業産出額の状況

(単位：千万円，%)

区 分	S63 年	H9 年	H18 年	S63-H18 差引(増減率)
広島県全域	13,736	12,241	10,690	▲3,046(▲22.2)
中山間地域 c	6,869	6,510	5,627	▲1,242(▲18.1)
非中山間地域	6,867	5,731	5,063	▲1,804(▲26.3)

※広島農林水産統計年報による。なお、昭和63年及び平成9年は農業粗生産額。

【表 15】 経営耕地面積の状況

(単位：h a，%)

区 分	H2 年	H12 年	H22 年	H2-H22 差引(増減率)
広島県全域	59,958	48,231	37,367	▲22,591(▲37.7)
中山間地域 c	30,081	25,310	19,866	▲10,215(▲34.0)
非中山間地域	29,877	22,921	17,501	▲12,376(▲41.4)

※農林業センサスによる。

### ◆商工業の状況

- ・中山間地域の事業所数は、広島県全域に比べ大きい割合で減少傾向にある。
- ・中山間地域の製造業は、20年間で事業所は約5割、従業者数は約4割減少している。また、製造品出荷額等は、広島県全域に比べ大きく減少している。
- ・中山間地域の小売業は、商店数、就業者数とも減少傾向で推移している。特に就業者数は、非中山間地域が増加傾向で推移しているのに対し、中山間地域は減少傾向にあり、傾向が異なっている。
- ・近年、広島県全域の総観光客数、観光消費額が増加傾向にある中で、中山間地域は伸び悩んでいる。また、1人当たり観光消費額は、広島県全域に比べ中山間地域は大きく下回っている。

【表 16】 事業所数の状況

(単位：事業所，%)

区 分	H3 年	H13 年	H24 年	H3-H24 差引(増減率)
広島県全域	156,234	145,555	136,141	▲20,093(▲12.9)
中山間地域 c	20,207	18,105	14,423	▲5,784(▲28.6)
非中山間地域	136,027	127,450	121,718	▲14,309(▲10.5)

※事業所・企業統計調査による。

【表 17】 製造業の状況

(単位：事業所，人，百万円，%)

区 分		H2 年	H12 年	H22 年	H2-H22 差引(増減率)
広 島 県 全 域	事業所数	9,473	7,548	5,490	▲3,983(▲42.0)
	従業者数	278,081	225,361	206,653	▲71,428(▲25.7)
	製造品出荷額等	8,931,172	7,217,672	8,732,482	▲198,690(▲2.2)
中 山 間 地 域 c	事業所数	1,692	1,250	781	▲911(▲53.8)
	従業者数	40,059	29,973	22,882	▲17,177(▲42.9)
	製造品出荷額等	891,949	740,107	590,555	▲301,394(▲33.8)
非中山間地 域	事業所数	7,781	6,298	4,709	▲3,072(▲39.5)
	従業者数	238,022	195,388	183,771	▲54,251(▲22.8)
	製造品出荷額等	8,039,223	6,477,566	8,141,927	102,704(1.3)

※工業統計調査による。



【表 18】小売業の状況

(単位：事業所，人，百万円，%)

区 分		H3 年	H9 年	H19 年	H3-H19 差引(増減率)
広島県 全 域	商店数	38,676	33,892	27,035	▲11,641(▲30.1)
	就業者数	166,400	176,774	191,731	25,331(15.2)
	年間商品販売額	3,342,016	3,548,792	3,115,060	▲226,956(▲6.8)
中山間 地 域 c	商店数	5,715	5,041	3,830	▲1,885(▲33.0)
	就業者数	18,431	18,165	18,087	▲344(▲1.9)
	年間商品販売額	303,840	327,239	270,870	▲32,970(▲10.9)
非中山間 地 域	商店数	32,961	28,851	23,205	▲9,756(▲29.6)
	就業者数	147,969	158,609	173,644	25,675(17.4)
	年間商品販売額	3,038,176	3,221,553	2,844,190	▲193,986(▲6.4)

※商業統計調査による。

【表 19】総観光客数の状況

(単位：千人，%)

区 分	H16 年	H20 年	H24 年	H16-H24 差引(増減率)
広島県全域	50,983	56,316	58,932	7,949(15.6)
中山間地域 c	13,942	14,609	13,147	▲795(▲5.7)
非中山間地域	37,041	41,707	45,785	8,744(23.6)

※広島県観光客数の動向による。

【表 20】観光消費額の状況

区分	H16 年		H20 年		H24 年		H16-H24 差引	
	総額 (百万円)	1人当たり 消費額(円)	総額 (百万円)	1人当たり 消費額(円)	総額 (百万円)	1人当たり 消費額(円)	総額(百万円) (増減率(%))	1人当たり消費額(円) (増減率(%))
広島県 全 域	253,582	4,974	297,370	5,280	335,604	5,695	82,022 (32.3)	721 (14.5)
中山間 地域 c	29,590	2,122	18,574	1,271	19,430	1,478	▲10,160 (▲34.3)	▲644 (▲30.3)
非中山間 地 域	223,992	6,047	278,796	6,685	316,174	6,906	92,182 (41.2)	858 (14.2)

※広島県観光客数の動向による。

## ◆県・市町協議における主な意見

- ・地域に雇用の場が少ない。転出して他地域で働いている。大学への進学時に地域から転出し、そのまま他地域で就職するケースが多い。
- ・中山間地域への移住を希望する方や、地域に住み続けることを希望する学生もいる。しかし、雇用の場が少ないので厳しい。定年退職後にUターンされた方が、年金が出るまで働く場も少ない。
- ・都市部から中山間地域に働きに来る例もある。中山間地域に雇用の場が全くない訳ではないが、希望職種とのミスマッチもあると思う。

**(解説9) P8 定住環境の状況について**

- 中山間地域における道路改良率や水洗化率などは、広島県全域との差は縮小しつつある。公民館数は、以前の増加傾向から減少傾向に転じている
- 広島県全域の医師数は増加傾向で推移しているが、中山間地域の医師数は減少傾向に転じている。また、中山間地域は、病院、診療所とも減少傾向にある。
- 中山間地域は、小中学校数及び児童生徒数ともに広島県全域よりも大きく減少傾向にある。
- 中山間地域の自動車（軽自動車を除く）の保有率は広島県全域より高く、移動手段として自家用車への依存度が高いと考えられる。
- 中山間地域の多くの集落において発生している問題として、産業基盤に関する「耕作放棄地の増大」「働き口の減少」や、生活基盤に関する「空き家の増加」「商店・スーパー等の閉鎖」などを掲げる意見が多い。

**【表 21】施設の整備状況**

(単位：%)

区分	市町道・道路改良率			市町道・道路舗装率			水洗化率		
	広島県全域	中山間地域 ※	差引	広島県全域	中山間地域 ※	差引	広島県全域	中山間地域 ※	差引
S50年	19.1	11.5	7.6	32.8	17.2	15.6	44.0	10.9	33.1
S60年	35.4	29.7	5.7	70.2	57.0	13.2	52.0	14.1	37.9
H7年	46.1	43.4	2.7	82.1	74.4	7.7	67.8	28.2	39.6
H20年	53.3	52.8	0.5	86.3	80.2	6.1	86.6	64.8	21.8

※県土木局及び環境県民局調べによる。なお、ここでの中山間地域は「中山間地域b」を指す。ただし、H20年においては一部データを取得できない区域を過疎地域から除いている。

**【表 22】公民館数の状況**

(単位：施設，%)

区分	H3年	H14年	H24年	H3-H24 差引(増減率)
広島県全域	395	416	294	▲101(▲25.6)
中山間地域c	125	129	45	▲80(▲64.0)
非中山間地域	270	287	249	▲21(▲7.8)

※県教育委員会調査による。

**【表 23】医師数の状況**

(単位：人，%)

区分	H2年	H12年	H22年	H2-H22 差引(増減率)
広島県全域	5,494	6,588	7,112	1,618(29.5)
中山間地域c	494	562	474	▲20(▲4.0)
非中山間地域	5,000	6,026	6,638	1,638(32.8)

※医師・歯科医師・薬剤師調査による。

【表 24】医療施設数の状況

(単位：施設，%)

区 分		H2 年	H14 年	H23 年	H2-H23 差引(増減率)	
広島県全域	病院	296	271	249	▲47(▲15.9)	
	診療所	一般	2,288	2,631	2,611	323( 14.1)
		歯科	1,160	1,470	1,547	387( 33.4)
	病床数	48,834	48,572	45,157	▲3,677(▲ 7.5)	
中山間地域 c	病院	40	32	29	▲11(▲27.5)	
	診療所	一般	256	251	234	▲22(▲ 8.6)
		歯科	127	137	126	▲1(▲ 0.8)
	病床数	5,194	5,560	5,129	▲65(▲ 1.3)	
非中山間地域	病院	256	239	220	▲36(▲14.1)	
	診療所	一般	2,032	2,380	2,377	345( 17.0)
		歯科	1,033	1,333	1,421	388( 37.6)
	病床数	43,640	43,012	40,028	▲3,612(▲ 8.3)	

※県健康福祉局調査による。

【表 25】学校数等の状況

(単位：校，人，%)

区 分		H4 年	H14 年	H24 年	H4-H24 差引(増減率)
広島県全域	小中学校数	965	932	829	▲136(▲14.1)
	児童生徒数	325,809	256,768	237,588	▲88,221(▲27.1)
中山間地域 c	小中学校数	270	250	176	▲94(▲34.8)
	児童生徒数	33,226	23,710	18,148	▲15,078(▲45.4)
非中山間地域	小中学校数	695	682	653	▲42(▲ 6.0)
	児童生徒数	292,583	233,058	219,440	▲73,143(▲25.0)

※学校基本調査による。

【表 26】自動車（軽自動車を除く）保有の状況

(単位：台，%)

区 分	H9 年		H19 年		H9-H19 差引	
	保有台数	保有率	保有台数	保有率	保有台数	保有率
広島県全域	1,094,888	38.0	1,112,322	38.9	17,434	0.9
中山間地域 c	118,514	38.2	112,127	42.9	▲6,387	4.6
非中山間地域	974,448	37.9	1,000,195	38.5	25,747	0.6

※中国運輸局広島運輸支局の資料による。広島県全域には不明数等も含むため、合計は一致しない。また、保有率は、当該データ直近の国勢調査の人口により算出した。

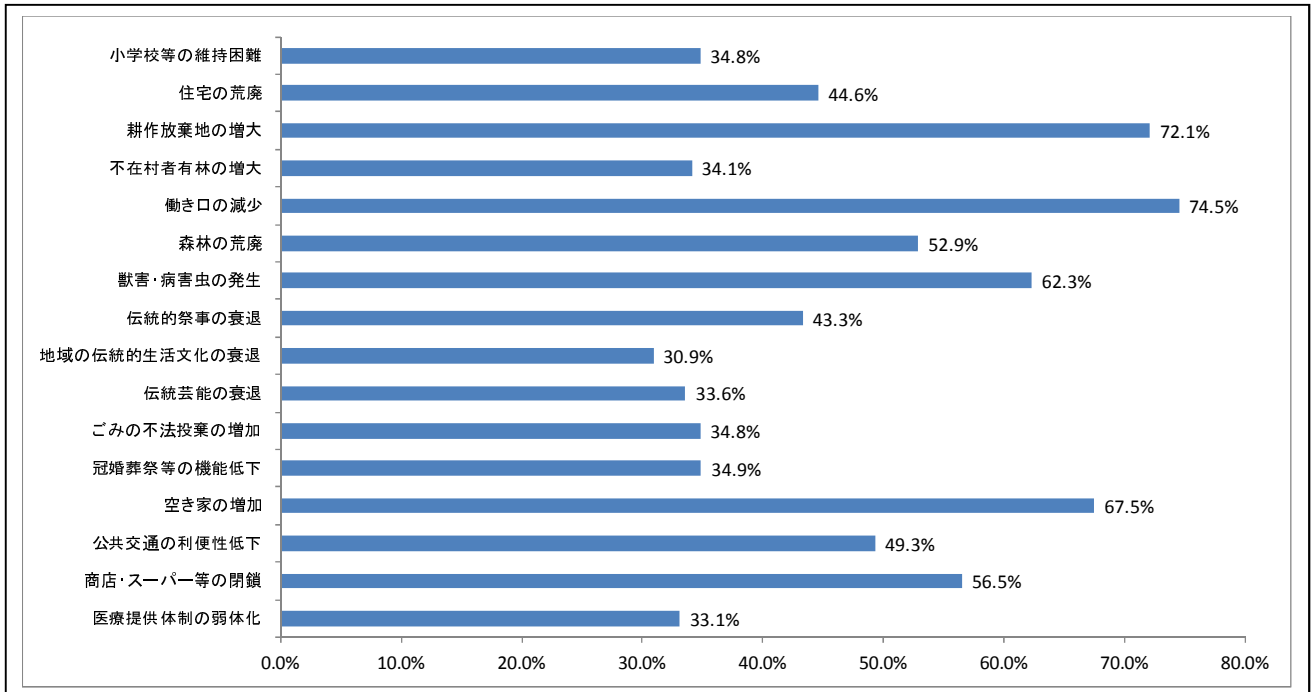
【表 27】営業用バス（乗合）輸送人員数の状況

(単位：千人)

区 分	S45 年	H3 年	H23 年	S45-H23 差引
広島県全域	281,465	187,273	97,990	▲183,505

※自動車輸送統計調査による。

【表 28】多くの集落で発生している問題や現象（上位項目）（全国）



※「過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査報告書」（H23 総務省）による。（過疎関係市町村へのアンケート結果）

#### ◆県・市町協議における主な意見

- ・地域からは、課題として医療，買い物環境の確保や鳥獣害対策などが挙がる。バス停まで行くことが困難な高齢者もいる。医療施設や店舗がある地域への交通手段の確保も重要。
- ・安全・安心の確保も住民ニーズとしてあるが，自主防災組織の高齢化が進んでいる。
- ・道路の整備状況は良くなっているが，維持修繕がこれからの課題となる。また，歩道が無い道路や狭い通学路への対応など，住民ニーズとして，道路改良に関するものは多い。
- ・島嶼部においては，港湾の老朽化も大きな課題。また，有料の架橋料金に負担感がある。島で生活が完結すれば良いが，医療施設や教育施設が島外にある。教育環境の確保も課題。

#### （解説 10）P 9 集落の状況について

#### ◆県・市町協議における主な意見

- ・担い手の高齢化により，地域の伝統行事や共同作業の実施や継承が困難になってきている。
- ・地域に若者が少ないため，同じ方が地域活動の役員に複数就任する状態であり，コミュニティの維持が懸念される。
- ・高齢化による共同作業の希薄化が，地域の繋がりも弱めている。

**(解説 11) P 9 移住・交流の動向について**

- 近年の地方への移住・交流に関する気運の高まりについては、総務省の報告書において指摘されている。
- 大都市圏における定住フェアにおける来場者アンケートの結果によると、大都市圏における地方への移住希望者は、ともに自然や地域の風土や雰囲気に対する期待感が高い。
- こうした中、県外から本県への定住相談件数及び定住世帯数は増加傾向にあり、「都市から地方へ」という流れが伺える。

**【参考】総務省報告書**  
 「人口減少時代に突入し、地方においては、大幅な人口減少と高齢化の進展に伴い、労働力や企業の流出、産業の衰退などによる地域社会の活力の低下、税収の低迷による財政の悪化など、今後とも厳しい状況が見込まれる。一方で、都市部においては、いわゆる「団塊の世代」の大量退職、ゆとりや豊かさ志向への国民のライフスタイルの変化、UJIターンや二地域居住の普及等により、「都市から地方への移住・交流」の気運が高まってきている。 「H21年度都市から地方への移住・交流の促進に関する調査報告書」(H22.3総務省)

**【表 29】定住フェアにおける移住希望者のニーズ(H24 大都市圏)** (単位:人, (%))

移住地でやりたいこと (大阪)		移住を考えている理由 (東京・複数回答)	
移住先の風土や文化に親しんでみたい	39(25.8)	自然豊かな地域で生活したい	125(76.7)
農業・漁業・林業などの職に就きたい	39(25.8)	気候が温暖な地域で生活したい	59(36.2)
積極的に地域の人々と交流してみたい	35(23.2)	住民との交流が盛んな地域で生活したい	30(18.4)
自然を満喫しアウトドアを楽しみたい	26(17.2)	農林漁業に従事したい	20(12.3)
親の介護 (Uターンのみ)	7(4.6)	芸術活動, 創作活動を行いたい	15(9.2)
その他	5(3.3)	地域で起業したい	18(11.0)
計	151	老後, 定年退職後, 地方でのんびり暮らしたい	38(23.3)
		子育ては自然豊かな地域で行いたい	42(25.8)
		都会での生活はもういいかなと思う	46(28.2)
		故郷に帰りたい	12(7.4)
		地域づくり, 地域の活性化に貢献したい	29(17.8)
		その他	8(4.9)
		回答総数	163

※広島県地域政策局による取りまとめ

**【表 30】県外から広島県への定住相談及び定住実績** (単位:件, 世帯)

区 分		H20	H21	H22	H23	H24
広島県全域	相談件数	458	540	968	776	1,168
	定住実績	54	40	44	50	60

※県内各市町の定住所管部署において把握した数値による。

**◆県・市町協議における主な意見**

・全体としては、今後も中山間地域は縮小傾向で推移すると考えられる。ただし、中山間地域の価値を見出し、回帰する流れも存在すると感じる。

## ◆地域への愛着や満足感など

- ・中山間地域の住民は、約8割が地域に愛着を持ち、約6割が地域生活に概ね満足感を抱いており、約7割が地域に住み続けたいと考えている。ただし、地域生活における満足感は都市部より低く、とりわけ、若年層(20～40代)においては、地域生活の満足感や今後の居住意向が、都市部の同世代に比べ大幅に低くなっている。
- ・また、今後の居住地の生活環境について、都市部では、約5割があまり変わらないと考えているのに対し、中山間地域では、約5割が悪くなっていくと考えている。

【表 31】居住地への愛着 ※再掲 (単位:%)

区 分	愛着がある・どちらかという と愛着がある		どちらかという と愛着がない		どちらとも 言えない	
	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部
全体	81.9	77.5	7.7	8.9	10.3	13.6
20～40代	68.8	69.9	14.8	15.4	16.4	14.7
50～60代	83.6	82.9	5.8	4.6	10.5	12.5
70代以上	90.4	81.1	4.2	5.4	5.4	13.5

【表 32】地域生活の満足感 ※再掲 (単位:%)

区 分	満足している・どちらか という満足している		不満である・どちらか という不満である		どちらとも 言えない	
	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部
全体	59.7	83.5	23.8	8.9	16.5	7.6
20～40代	37.5	81.9	39.8	11.1	22.7	6.9
50～60代	65.7	87.5	21.5	5.3	12.8	7.2
70代以上	70.5	78.4	13.9	12.2	15.7	9.5

【表 33】今の居住地に住み続けたいか ※再掲 (単位:%)

区 分	住み続けたい・どちらか という住み続けたい		別の地域に住みたい・どちらか といえば別の地域に住みたい		どちらとも 言えない	
	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部
全体	72.1	80.1	17.4	12.0	10.6	7.8
20～40代	49.2	75.9	33.3	17.0	17.5	7.1
50～60代	79.4	81.4	12.9	9.7	7.7	9.0
70代以上	82.8	85.9	9.3	7.0	7.9	7.0

【表 34】今後の居住地の生活環境 ※再掲 (単位:%)

区分	非常に良くなっていくと思う・ 少しは良くなっていくと思う		少し悪くなっていくと思う・ 非常に悪くなっていくと思う		あまり変わらない と思う		分からない	
	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部
全体	13.6	24.4	53.9	17.9	28.7	52.8	3.9	4.9
20～40代	12.5	31.9	55.5	13.2	28.9	49.3	3.1	5.6
50～60代	11.0	17.2	61.0	21.2	25.0	58.9	2.9	2.6
70代以上	17.1	24.3	45.1	20.3	32.3	47.3	5.5	8.1

### ◆地域での暮らしの印象

- ・住民の居住地における生活の印象について、中山間地域と都市部を比べると、プラス面として「自然が豊か」「治安や風紀が良い」「落ち着いた雰囲気がある」「住民間のつながりが強い」「伝統文化などが継承されている」、マイナス面として「働くところが少ない」「日常生活施設」「生活インフラ」「移動手段」「飲食や娯楽のための施設」が不便という点について、回答傾向に大きな差がある。

【表 35】今の居住地での生活について（上位項目）

（単位：%）

区 分		当てはまる・どちらかという当てはまる		当てはまらない・どちらかという当てはまらない		どちらとも言えない	
		中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部
暮らしやすい	全体	46.8	87.9	20.5	3.6	32.7	8.5
	20～40代	43.2	88.8	32.8	3.5	24.0	7.7
	50～60代	48.2	90.7	13.4	2.0	38.4	7.3
	70代以上	48.4	79.7	18.1	7.2	33.5	13.0
自然が豊か	全体	90.9	24.2	2.4	56.9	6.7	18.9
	20～40代	93.8	18.9	1.6	58.0	4.7	23.1
	50～60代	94.1	27.7	1.2	57.4	4.7	14.9
	70代以上	85.0	28.1	4.6	53.1	10.5	18.8
治安や風紀が良い	全体	84.5	47.8	2.2	22.2	13.2	30.0
	20～40代	82.8	39.2	3.9	29.4	13.3	31.5
	50～60代	86.7	52.7	1.2	16.7	12.0	30.7
	70代以上	83.6	55.2	2.0	19.4	14.5	25.4
落ち着いた雰囲気がある	全体	75.3	51.8	4.1	18.7	20.6	29.5
	20～40代	83.5	49.0	3.9	21.0	12.6	30.1
	50～60代	67.9	52.0	3.7	18.0	28.4	30.0
	70代以上	76.5	57.6	4.6	15.2	19.0	27.3
住民間のつながりが強い	全体	52.9	17.1	13.2	41.9	33.9	41.0
	20～40代	59.1	17.5	9.4	45.5	31.5	37.1
	50～60代	50.0	16.2	14.5	39.2	35.5	44.6
	70代以上	51.0	18.5	15.0	40.0	34.0	41.5
伝統文化などが継承されている	全体	54.3	23.5	15.2	47.6	30.5	28.8
	20～40代	56.7	28.2	11.0	45.1	32.3	26.8
	50～60代	57.3	18.5	14.6	51.7	28.0	29.8
	70代以上	49.0	25.0	19.5	43.8	31.5	31.3
働くところが少ない	全体	82.1	23.9	9.2	39.4	8.7	36.6
	20～40代	89.7	18.1	4.0	49.3	6.3	32.6
	50～60代	86.5	24.7	9.8	34.0	3.7	41.3
	70代以上	70.7	36.1	12.9	29.5	16.3	34.4
買い物・医療・教育など日常生活施設が不便	全体	65.6	11.6	19.2	76.2	15.2	12.2
	20～40代	78.9	11.8	10.2	76.4	10.9	11.8
	50～60代	65.1	8.0	21.1	80.0	13.9	12.0
	70代以上	55.2	19.4	24.7	67.2	20.1	13.4
道路・上下水道・電気通信など生活インフラに不便を感じる	全体	38.7	6.6	34.9	86.2	26.4	7.2
	20～40代	46.9	7.6	26.6	85.4	26.6	6.9
	50～60代	38.8	6.0	36.4	88.7	24.8	5.3
	70代以上	31.8	6.0	40.4	82.1	27.8	11.9
交通機関など移動手段が不便	全体	71.9	17.4	14.9	74.9	13.1	7.7
	20～40代	88.3	22.2	3.1	69.4	8.6	8.3
	50～60代	69.5	12.6	18.6	80.1	12.0	7.3
	70代以上	61.0	17.9	20.8	74.6	18.2	7.5
飲食や娯楽のための施設が不便	全体	64.7	25.2	17.4	53.2	17.9	21.6
	20～40代	76.6	29.2	10.2	47.2	13.3	23.6
	50～60代	70.5	22.7	15.7	59.3	13.9	18.0
	70代以上	48.4	22.4	25.5	52.2	26.1	25.4

※「当てはまる・どちらかという当てはまる」との回答割合が中山間地域dと都市部と比べ20ポイント以上の差があったもの。

◆地域における課題

- ・中山間地域の住民が居住地で必要と考える取組は多岐にわたる。特に「移住促進」「働く場の確保」「医療介護」「移動手段」に取り組みが必要と考える意見は約8割を超えている。

【表 36】居住地で必要と考える取組（上位項目） ※再掲

（単位：%）

区 分		自己負担が生じてでも取り組む必要を感じる		取り組む必要を感じるが自己負担するほどではない		それほど取り組む必要を感じない		取り組む必要を感じない		どちらとも言えない	
		中山間	都市部	中山間	都市部	中山間	都市部	中山間	都市部	中山間	都市部
山林・家屋・空き地など 地域環境の 管理保全	全体	22.2	8.9	49.7	46.7	5.6	11.9	3.6	11.9	18.9	20.7
	20～40代	17.3	7.5	41.8	50.9	8.2	17.0	6.1	13.2	26.5	11.3
	50～60代	23.9	8.9	58.2	42.9	1.5	7.1	3.0	10.7	13.4	30.4
	70代以上	24.5	11.5	46.2	46.2	8.5	11.5	1.9	11.5	18.9	19.2
見守りや 声掛けなどの 生活サポート	全体	22.5	15.0	50.6	56.4	6.3	6.8	1.5	2.3	19.2	19.5
	20～40代	18.2	7.5	48.5	62.3	9.1	5.7	3.0	1.9	21.2	22.6
	50～60代	21.5	23.2	54.1	53.6	5.2	5.4	0.0	0.0	19.3	17.9
	70代以上	28.0	12.5	48.0	50.0	5.0	12.5	2.0	8.3	17.0	16.7
地域への 若者などの 移住促進	全体	27.8	14.3	54.9	42.1	2.4	11.3	1.8	6.8	13.1	25.6
	20～40代	28.6	9.4	55.1	45.3	2.0	17.0	2.0	7.5	12.2	20.8
	50～60代	28.9	19.6	60.7	39.3	1.5	8.9	0.0	5.4	8.9	26.8
	70代以上	25.5	12.5	47.1	41.7	3.9	4.2	3.9	8.3	19.6	33.3
働く場の確保	全体	31.7	10.0	57.1	40.0	1.5	14.6	1.5	9.2	8.3	26.2
	20～40代	33.3	9.4	59.6	50.9	0.0	9.4	1.0	11.3	6.1	18.9
	50～60代	32.3	11.1	60.9	33.3	0.0	16.7	0.0	7.4	6.8	31.5
	70代以上	29.2	8.7	50.0	30.4	4.7	21.7	3.8	8.7	12.3	30.4
鳥獣被害対策	全体	37.8	6.8	38.9	30.8	4.4	24.8	2.7	15.0	16.2	22.6
	20～40代	25.3	3.8	37.4	20.8	5.1	32.1	5.1	17.0	27.3	26.4
	50～60代	42.2	3.6	43.0	41.8	4.4	18.2	0.0	14.5	10.4	21.8
	70代以上	43.8	20.0	35.2	28.0	3.8	24.0	3.8	12.0	13.3	16.0
教育環境の 確保充実	全体	24.5	12.1	47.0	30.3	7.0	22.0	2.4	17.4	19.1	18.2
	20～40代	31.0	15.1	51.0	32.1	6.0	18.9	2.0	15.1	10.0	18.9
	50～60代	22.3	10.7	46.9	30.4	6.2	26.8	0.0	16.1	24.6	16.1
	70代以上	21.0	8.7	43.0	26.1	9.0	17.4	6.0	26.1	21.0	21.7
医療介護の 確保充実	全体	35.0	11.3	49.0	33.1	4.2	23.3	1.2	14.3	10.7	18.0
	20～40代	35.0	9.4	51.0	35.8	5.0	20.8	2.0	7.5	7.0	26.4
	50～60代	33.1	8.9	51.1	33.9	3.0	28.6	0.0	16.1	12.8	12.5
	70代以上	37.5	20.8	44.2	25.0	4.8	16.7	1.9	25.0	11.5	12.5
交通機関など 移動手段の確 保充実	全体	29.2	10.5	53.3	30.8	4.5	21.1	2.1	21.1	11.0	16.5
	20～40代	32.3	15.1	52.5	34.0	4.0	26.4	2.0	13.2	9.1	11.3
	50～60代	26.9	7.1	59.0	28.6	3.0	16.1	1.5	23.2	9.7	25.0
	70代以上	29.1	8.3	46.6	29.2	6.8	20.8	2.9	33.3	14.6	8.3

※表区分のうち、中山間は「中山間地域d」を指す。

※「自己負担が生じてでも取り組む必要を感じる・取り組む必要を感じるが自己負担するほどではない」との回答が中山間地域d全体で70%以上であったもの。



### ◆都市部住民の意識

- ・都市部の住民は、約8割が中山間地域を大切だと考え、約2割が「いずれ住むつもりでいる」「住んでみたいと思う」と考えている。また、都市部の住民の半数以上が中山間地域との関わりを有している。
- ・また、中山間地域の活動で行っても良いと思うものは、地域への訪問や産品購入が多く、他の項目のほとんどは2割以下に留まっていることから、地域づくりへの幅広い参画意欲の向上を図る余地があると考えられる。

【表 37】 中山間地域は大切だと思うか（都市部のみ）※再掲（単位：%）

区 分	大切だと思う・どちらかという大切だと思う	大切だと思わない・どちらかという大切だと思わない	どちらとも言えない
全体	84.5	1.4	14.2
20～40代	83.3	2.1	14.6
50～60代	84.9	1.3	13.8
70代以上	85.9	0.0	14.1

【表 38】 中山間地域への居住（都市部のみ）（単位：%）

区 分	いずれ住むつもりでいる	住んでみたいと思う	住んでみたいと思わない	分からない
全体	1.6	18.1	57.1	23.1
20～40代	2.1	15.3	56.3	26.4
50～60代	2.0	21.5	55.0	21.5
70代以上	0.0	16.9	63.4	19.7

【表 39】 中山間地域との関わり（都市部のみ）※再掲（単位：%）

区 分	出身地である	出身地ではないが住んだことがある	住んでいないが通勤や通学で通っている	親族が居住している	家屋や田畑などの資産を保有している	関わりは無い	その他
全体	19.2	5.9	1.1	33.8	4.9	45.4	6.2
20～40代	14.6	6.3	1.4	31.3	3.5	50.0	7.6
50～60代	21.7	3.3	1.3	38.8	4.6	42.8	5.3
70代以上	23.0	10.8	0.0	28.4	8.1	41.9	5.4

【表 40】 中山間地域での活動で行っても良いと思うもの（都市部のみ）（単位：%）

区 分	保養・レクリエーションで訪問する	地域の産品を購入する	農業体験などの交流事業に参加する	伝統文化行事や芸術活動に参加する	自然保護活動に参加する	貸農園などで農作業を行う	助け合い活動に参加する	自治組織の地域づくりの取り組みを手伝う	特に無い	その他
全体	47.0	73.5	14.3	17.0	20.3	13.5	9.5	4.9	12.7	1.4
20～40代	53.5	79.9	27.1	22.9	23.6	14.6	11.8	5.6	5.6	1.4
50～60代	52.6	75.0	8.6	17.1	21.7	18.4	7.2	3.9	7.2	0.7
70代以上	23.0	58.1	1.4	5.4	10.8	1.4	9.5	5.4	37.8	2.7

#### ◆県・市町協議における主な意見

- ・将来はともかく、現時点においては、暮らしについて大きな不満がある訳ではないと思う。ただし、10年後には厳しい状況になるのではないかと。
- ・中山間地域で住民アンケートを行ったところ、住みやすい、住み続けたいという意見が多かった。地域に愛着を持っていると思う。ただし、暮らしやすさの尺度や今後の居留意向は、若い世代と高齢者で異なるのではないかと。
- ・住民に、現状についての諦め感や他人事感、地域についての誇りの喪失が見受けられる。家庭等において、若者に都市部への転出を促すような話が出てしまっている。
- ・マイナス思考が先に立ち、中山間地域の良さが前面に出てきていない印象がある。
- ・地域の将来像が見えないため、住民が不安感を抱いているのだと思う。住民も、何をどうすれば状況が改善されるのか分からない状態。

**(解説 13) P12 中山間地域の強みについて**

- ・中山間地域の住民の多くは、地域の暮らしに自然の豊かさ、治安や風紀の良さ、落ち着いた雰囲気等の印象を抱いている。
- ・また、都市部では、住民間のつながり、伝統文化の継承等に対する印象が中山間地域と比較して低くなっている。

**【表 41】今の居住地での生活について（上位項目）※一部再掲**

（単位：%）

区 分		当てはまる・どちらかという当てはまる		当てはまらない・どちらかという当てはまらない		どちらとも言えない	
		中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部	中山間地域d	都市部
自然が豊か	全体	90.9	24.2	2.4	56.9	6.7	18.9
	20～40代	93.8	18.9	1.6	58.0	4.7	23.1
	50～60代	94.1	27.7	1.2	57.4	4.7	14.9
	70代以上	85.0	28.1	4.6	53.1	10.5	18.8
治安や風紀が良い	全体	84.5	47.8	2.2	22.2	13.2	30.0
	20～40代	82.8	39.2	3.9	29.4	13.3	31.5
	50～60代	86.7	52.7	1.2	16.7	12.0	30.7
	70代以上	83.6	55.2	2.0	19.4	14.5	25.4
落ち着いた 雰囲気がある	全体	75.3	51.8	4.1	18.7	20.6	29.5
	20～40代	83.5	49.0	3.9	21.0	12.6	30.1
	50～60代	67.9	52.0	3.7	18.0	28.4	30.0
	70代以上	76.5	57.6	4.6	15.2	19.0	27.3
住民間の つながりが 強い	全体	52.9	17.1	13.2	41.9	33.9	41.0
	20～40代	59.1	17.5	9.4	45.5	31.5	37.1
	50～60代	50.0	16.2	14.5	39.2	35.5	44.6
	70代以上	51.0	18.5	15.0	40.0	34.0	41.5
伝統文化などが 継承されている	全体	54.3	23.5	15.2	47.6	30.5	28.8
	20～40代	56.7	28.2	11.0	45.1	32.3	26.8
	50～60代	57.3	18.5	14.6	51.7	28.0	29.8
	70代以上	49.0	25.0	19.5	43.8	31.5	31.3

※「当てはまる・どちらかという当てはまる」との回答割合が中山間地域dと都市部と比べ20ポイント以上の差があったもの。

【表 42】定住フェアにおける移住希望者のニーズ (H24 大都市圏) ※再掲

(単位:人, (%))

移住地でやりたいこと (大阪)		移住を考えている理由 (東京・複数回答)	
移住先の風土や文化に親しみたい	39 (25.8)	自然豊かな地域で生活したい	125 (76.7)
農業・漁業・林業などの職に就きたい	39 (25.8)	気候が温暖な地域で生活したい	59 (36.2)
積極的に地域の人々と交流してみたい	35 (23.2)	住民との交流が盛んな地域で生活したい	30 (18.4)
自然を満喫しアウトドアを楽しみたい	26 (17.2)	農林漁業に従事したい	20 (12.3)
親の介護 (Uターンのみ)	7 (4.6)	芸術活動, 創作活動を行いたい	15 (9.2)
その他	5 (3.3)	地域で起業したい	18 (11.0)
計	151	老後, 定年退職後, 地方でのんびり暮らしたい	38 (23.3)
		子育ては自然豊かな地域で行いたい	42 (25.8)
		都会での生活はもういいかなと思う	46 (28.2)
		故郷に帰りたい	12 (7.4)
		地域づくり, 地域の活性化に貢献したい	29 (17.8)
		その他	8 (4.9)
		回答総数	163

※広島県地域政策局による取りまとめ

(解説 14) P13 基本方針について

◆県・市町協議における主な意見

- ・人口減少を抑制することと、住み続けることができる環境を整えていくという方向性は普遍的なものだと思う。
- ・地域の課題を抽出し、自分達の地域を自分たちで良くしようという意識や活動の活発化が重要。それには人材が必要。住民から新たな人材が出てきたら地域の様子が変わってくると思う。学生や事業者など、外部人材との結びつきも重要。
- ・地元で雇用と、教育や医療福祉などがあれば、地域に住み続けることができる。
- ・中山間地域に居住していない方に地域を知ってもらうことと、地域の魅力を住民に再認識してもらうことが必要。交流人口が増えると地域が賑やかになる。住民の自信や自慢になり、いきいきと暮らせると思う。交流の中から、地域を気に入って定住する方が出てくればよい。

## 付記 住民アンケート調査の実施方法

この中間まとめ（案）における住民アンケートは、次により実施した。

### 1 調査名

地域の暮らしに対する意識調査

### 2 調査期間

平成 25 年 12 月～平成 26 年 1 月

### 3 調査対象先

○中山間地域（安芸太田町，大崎上島町，世羅町）在住の 20 歳以上の個人

○都市部（広島市中心部（中区），福山市中心部（J R 福山駅周辺部））在住の 20 歳以上の個人

### 4 調査方法

住民基本台帳に登録されている 20 歳以上の方から，単純無作為により対象者を抽出し，郵送により調査票を送付回収した。

### 5 有効回答数等

#### （1）市町別

区 分		配布数	有効回答数(回答率)
中山間地域	安芸太田町	300	139(46.3)
	大崎上島町	300	134(44.6)
	世羅町	400	196(49.0)
	小計	1,000	469(46.9)
都市部	広島市中心部	600	209(34.8)
	福山市中心部	400	161(40.2)
	小計	1,000	370(37.0)
合計		2,000	839(42.0)

#### （2）年齢別

区分	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
中山間地域	467	33(7.1)	46(9.9)	49(10.5)	75(16.1)	97(20.8)	104(22.3)	63(13.5)
都市部	370	27(7.3)	64(17.3)	53(14.3)	68(18.4)	84(22.7)	47(12.7)	27(7.3)
合計	837	60(7.2)	110(13.1)	102(12.2)	143(17.1)	181(21.6)	151(18.0)	90(10.8)

※有効回答数及び年齢別構成比（年代不詳の 2 名を除く）